



提供会員募集のお知らせ



ファミリー・サポート・センターとは、育児の援助をしてほしい方と、できる方が会員となって、地域の中で子育てを支援する、たすけあいの活動です。このたび育児の援助ができる方(提供会員)の講習会を開催いたしますので、ぜひご参加いただき、活動を通して地域の子育て支援にご協力ください。

■2019年度 提供会員養成講習会 日程■

※日程・内容につきましては、変更が生じることもありますので、ご承知おきください。

日にち	時間	講習項目	講師
9/18(水)	9:30~10:30 10:30~12:30	事業概要説明 子どものくらしとケア	アドバイザー 東村山市保育士
9/20(金)	9:30~12:30	応急処置と救急対応(普通救命講習)	東村山市消防署
9/25(水)	10:00~12:00	子どもの心の発達とその問題 I	馬場教子氏 (臨床心理士)
9/27(金)	9:30~12:30	保育の心・子どもの事故と安全	佐々加代子氏 (白梅学園大学名誉教授)
10/1(火)	10:00~12:00	子どもの栄養と食生活	塚原浩子氏 (管理栄養士)
10/3(木)	10:00~12:00	身体の発達と病気	小保内俊雅氏 (医師)
10/8(火)	10:00~12:00	子どもの遊び	大森靖枝氏 (劇団風の子)
10/9(水)	10:00~12:00	子どもの心の発達とその問題 II	湯汲英史氏 (言語聴覚士)
10/11(金)	10:00~12:00	小児看護の基礎知識	東村山市保健師
10/16(水)	9:30~12:30	援助活動を円滑に進めるために	提供会員・アドバイザー

【場所】東村山市地域福祉センター1階 地域福祉活動室 (所在地はセンターと同じ)
 【定員・資格】市内在住の20歳以上のかたで、提供会員として登録後に活動できる方、先着50名
 特別な資格は必要ありませんが、提供会員の登録には本講習会の受講が必要です。
 【参加費】 無料 (ただし、普通救命講習はテキスト代1,400円が必要です)
 【申込み・問合せ】2019年8月1日(木)より受付開始 電話(393-5137)または直接センターへ

講習を受ける前に活動についての説明会もあります。
 申し込み不要なので気軽にご参加ください。AM10~11です

7/8(月) 市民センター 7/26(金) 秋津公民館
 8/26(月) 市民センター 9/9(月) ころころの森



2019年度は
こんな感じ!

てまひま基地



Twitter Instagram

“早い・便利”から “のんびり・てまひま”へ

花さき保育園旧園舎 保育棟2階。
 親子も子どもも学生もシニアの方も
 どなたでも寄れる地域の場として、
 昨年11月のオープン依頼、試行錯誤で
 活動しています。週2日ほどの開所ですが、
 ぜひ、のぞきに来てみてください!
 開所や企画の予定は、毎月発行のカレンダー、
 ツイッター、インスタグラムで確認してください。

小学生企画



↑重ね煮カレーの
作り方

長期休みに開催している小学生企画。
 物づくりや室内遊びを中心に、春休みは
 3日間開催しました。お昼ご飯も作って
 食べるよ! 夏休みは4日間開催予定。



↑切り紙

スタッフの
しんご君は
大人気!

食の講座



てまひまの食の講座は、手軽で
 カラダによい発酵ものや保存食
 を中心に月1回開催しています。
 デモンストレーションと試食が中
 心で500円。

ちくちく カフェ



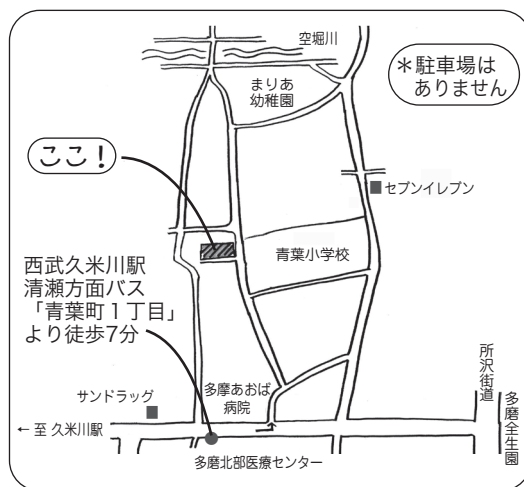
「フェルトおもちゃ」お弁当シ
 ーズはキットになっています。
 ちくちくしながらおしゃべり。
 てまひまでは手作り講座が人気。
 冬はあみものカフェも。
 消しゴムハンコ講座も好評でした。

ピラティス



毎月第1土曜日 10:30~11:30

*他にも
 ・わらべうたタイム
 ・ブックトークカフェ
 ・ネイチャーゲーム
 ・ボードゲーム
 など定番ですが、
 休憩、お茶だけ、
 雑誌を読む、
 おしゃべりしに…などの
 利用も大歓迎!



東村山市青葉町2-22-5 花さき保育園旧園舎2階

社会福祉法人土の根会 花さき保育園の
 「こじか村事業」の一環です。

こども じんけん かんきょう

雑記報

■平成? 新元号? 西暦?
 : 書類の作成に混乱した年度
 はじめ。4月、てまひま基地の初企画「春休
 み・小学生あつまれ」は3日間開催、みん
 なで工作したりご飯を作ったり、おも
 しろかった! 夏休みも開催しますよ。
 ■5月は例年通り「東村山子どもまつり(野火
 止小学校)」に模擬店参加しました。おなじ
 み「お好み焼きロール」と駄菓子の販売。今
 年はいつもにも増して駄菓子には長〜い列が
 : 昔も今も子ども達には魅力的なんですね。
 「お好み焼きロール」作りも年々腕を上げ、
 玉子焼き機5台で職人技でクルクル焼いてこ
 ちらも人気でした。■てまひま基地には、お
 しゃれな洋服やくつ、その他いろいろなもの
 が集まっています。リサイクルできないかと思考錯
 誤中。メンバーUさんは若人に指南を受けな
 がらフリマアプリに初挑戦。6月、出品して
 しばらく経ち、忘れたころに売れたのは、な
 んと「ブランドの紙袋」! 現在は「タコ糸」を
 出品中(笑) ■7月、平成18年より富士見町
 の老人施設ハトホーム内で開いていた「子育て
 ひろば」ハトの家が、施設の改築に伴い、いつ
 たん終了となりました。これまでの応援あり
 がとうございました。富士見町は、赤ちゃん
 のいる家庭が増えている様子。ハトの家にも毎
 回多くの親子が遊びに来てくれていました。
 現在、新たな場所を探し中です。■息苦しい
 現代。誰もが大事にされ、どの子も伸び伸び
 子ども時代を過ごせるおらかさがある社
 会が、本当の豊かさだと思っております。HUG
 Gは設立前から「子どものために選挙へ行こ
 う!」と呼びかけています。7月21日は参議
 院選挙。みなさん、投票権のない子ども達の
 分も含め、選挙に行きましょう!

子育ての中で見つけた大切なこと “自分のことは自分で決める”

M.Cさん (富士見町)

長女 28歳 長男 25歳 次男 22歳

東大和に住んでいるとき、長女が生後3カ月で骨形成不全症と診断されました。骨が折れやすく、お腹の中でも7か所ほど骨折していたようです。途中で数えるのをやめました。これまでに60回くらいは骨折していると思います。1歳半健診で、障害のある幼児向けの通所施設を紹介され、療育を受け始めました。

3歳になる年、受け入れてくれる幼稚園を探して美住町の団地の集会所で運営されていた「幼児教室すずめ」に出会い、週3日は東村山のすずめ、週2日は東大和の通所施設へ通う生活が始まりました。

入園時、私は長男を妊娠中だったので妹に介助を頼みました。ところが園から「おばさんの介助を外しましょう」と言われてびっくり。理由は、先生や友達に、こうしてほしい、これは困るといふことを自分で言えるようになることが大事だから、というもの。すると、それまで自分から周りに働きかけることがなかった娘があつたという間にコミュニケーションを取れるようになったのです。先生方や周りの子どもたちの見守りのなかで他者との関わり方の基礎を学んだ時期だと思っています。その後、歩いてすずめに通いたくて東村山に越しました。

長女が4歳のとき、手術のため地方の病院に2カ月入院することになりました。1歳の長男を母に預けて行くことに踏み切れずにいる私に「C家の子として生まれた彼が背負うべきこと。手術に行つてきなさい」と背中を押してくれたすずめの先生の言葉を思い出すと、今でも涙が出そうになります。これが、その後の我が家の指針になっていったと思います。

長女が地元の公立小学校に入学時、今度は次男の出産を控えていたので自費で介助をつけました。都や市に働きかけを行い、2年目から東村山初の公的介助がつくことに！ 学童にも通うことができましたが、これが後の世代につながるできなかったことは、とても残念です。

3人の子育ては、すずめが生活の中心。すずめの仲間とは預け合いをすることも多く、長女の通院や都心まで車いすダンスのサークルに出かけるときは、長男次男はいつもどこかのお宅で遊ばせてもらっていました。もちろん我が家で大勢の子ども達が遊ぶことも。子ども達の密接な関係を見てみると、うらやましいくらいです。下の男子2人はサッカー部。そこでも自分の子も他の子も見合ってきて、元氣いっぱい小学生男子を育てるには、地域の力がなくては難しいということを実感した日々でした。

家族の力も不可欠です。夫は月の半分以上出張で、我が家の育児はいわゆるワンオペ。毎週末は小平の義母のところへ、夫がいてもいなくても全員で泊りに行きました。義母は子どもと遊ぶのが上手で子どもたちから「ほけもんばあば」と呼ばれています。家事を手伝ってくれる私の母は「おそうじばあば」。子どもたちの人に対する思いやりは、この2人のばあばから教えられたと感謝しています。夫はわんぱく盛りの長男、次男担当。ある日山歩きへ連れ出したのをきっかけに、夏の家族旅行は日本百名山に登るのが我が家の定番になりました。下山後は下で待っていた私たちと温泉に入ったり海水浴をしたり。懐かしいですね。

長女が5年生の運動会の練習中、頭蓋骨骨折で意識不明の重体となり一週間意識が戻りませんでした。一命をとりとめても言葉が出ないなど脳への影響が見受けられたので、家に連れて帰りました。自宅や地域の仲間の刺激いっぱいの中で過ごさせたかったためです。

命の覚悟をした事故で私の価値観は一変しました。それまで娘に必要なのは「色々なことができるようになること」だと思っていたのですが、「この子にとっての幸せとは？」と考えるように。幸せとは、何がができることではなく、自分を生きること。そのためには自分で決めることが大切だと思うようになってから、娘にも下の子たちにも口を出さなくなりました。

長女は本人の希望で、中3で地元の公立中学から支援学校に移りました。通常学級ではお世話される側になりがちだったのが、活躍の場が広がりとてもいきいきと中学生生活を送れるように。そのとき「1年生から通いたかった！」と言われ、ますます「自分のことは自分で決める」ことが大事だと実感しました。

改めて振り返ってみても、自分で子育てしてきたという感じがしないのです。土台はずめで、その後も多くの人たちに育ててきてもらったことで、周りのことを大事にする子たちに育ちました。長女が出先で骨折したり、長男が大学をやめたり次男が浪人したり、大きくなって色々あるし、これからも起きると思います。私も夫も子ども達が自分で決めたことを信頼しています。この間に私もすずめの仕事を手伝うようになりました。

数年前、住み慣れた富士見町を離れ、一家で小平の実家に引っ越しました。長女は親戚の援助で同じ敷地内に自分の住まいを建て一人暮らしを始めました。長女の行動力は大きいです。作業所に通いながら車いすダンスで毎年石巻へ行くなど活発。もともとヘルパーさんの手配は自分でしていましたが、長女の特性に合わせた家のおかげで家事や身の回りのことに親の手が必要なくなり、一週間顔を见ないことも。毎日、部屋の明かりをそつと確認しています。彼女にも私にもこんな日が来るとは思いませんでした。

同時に長男は就職して赴任先の東北へ。次男は浪人を経て北海道の大学へ。彼ららしく元気にやっているようです。長男次男には我慢や負担をさせてきたこともありましたが、特に長男は自制する子なので、これからは自由に自分の道を行ってほしいと願っています。

子どもたち3人が一度に家を出ることになった春、親族が集まった場で、一番自由奔放にやってきた次男が「姉はすずめ。いつも明るくてやりたいことをやっている。彼女がいてくれて本当に良かった。兄もすずめ。自分の道を切り開いている。父も母も僕たちをこんな風に育ててくれた。うちの家族はみんなすずめ！」と言ってくれたことはうれしかったです。



フリマ&手作り雑貨DAY

2019年9月29日(日) 10:00~15:00

物づくりと物の再生がテーマの楽しいイベントです。
ご家族連れでどうぞ!

手作り雑貨



赤ちゃん用品、子ども向け、大人向け…
かわいい手作り雑貨がたくさん!
見るだけでもワクワク♪

フリーマーケット

赤ちゃん~子ども…服・雑貨
女性用…カジュアル・ドレス・スーツ
婦人向け
男性用…カジュアル・紳士向け
*生活雑貨、日用品もあります!

おもちゃ交換コーナー

いらなくなったけど、まだ遊べる
おもちゃを持って来てね。
欲しいおもちゃと交換しよう♪
(10:00~14:00)

食べ物など

- 駄菓子屋ひまこ
みんな大好き駄菓子屋さん
- 冷凍焼き芋(予定)
熟成つぼ焼き芋の冷凍は絶品!
- ニンジンびっくり揚げ(予定)
食べなきゃ損!のおいしさ



かわいい店主コンビ

その他、手作りワークショップや
食べ物の出店なども企画中!
出店希望の方は8月20日まで
にご連絡ください。

